

ロクマルキャッチ率は上昇!  
ビッグバスに恵まれた上半期

あつという間に2010年上半期が終了しましたね。大仲ガイドの前半戦は、不安定な天候による大雨や寒さで結果が出ず悩める日もありましたが、琵琶湖に通うみなさんはイ釣りできましたか? ちなみに去年に比べてロクマルを超えるビッグサイズのキャッチ率は上がっているものの、40から50cmのレギュラーサイズはペースダウンするというガイド内容となりました。環境の変化に強く、体力のあるビッグサイズは少々のことでは動じないんですかね!? とにかく厳しいながらも、ビッグサイズには恵まれました!

そんな今シーズンも、ようやく6月に入って気候が安定しはじめ、この原稿を書いている7月現在は梅雨らしいジメジメした、暑い毎日が続いています。琵琶湖の様子もサマーパターンへと移行し、水面まで伸びたウィードが南湖中に広がっています。ローライトならばトップやビッグベイト、晴れて暑い時間帯はヘビータキサスやパンチング、リアクションジグでビッグサイズを狙えます。これから真夏にかけて、ウィードはさらに成長。それがバスの行動を支配するので、各エリアのウィードの変化に注意が必要です。特にコカナダ藻の存在は大きく、生えはじめで背の低いエリアはリアクションジグ、水面までドーム状に伸びてきたらヘビータキサスがオススメで、この2アイテムが南湖を攻略するうえで欠かせないタックルとなるでしょう。

ヘビータキにはジャギータイル  
実は10インチモデルも……!?

ヘビータキサスで僕が使っているワームはスレート系なら邪道・ジャギータイル。春はジグヘッドやライトタキサスなんかでも使っていました。このワーム、本来はヘビータキサス専用が開発したもので、開発でこだわった点は、スレートワームでは出ずることのできなかったフォール時のテールが振動するアクションで、テールの無数のリブが水を掴んで、振動しながらフォールしていきます。その振動する抵抗はカーリータイルに匹敵し、バスの視覚的要素に加え感覚的要素も刺激します。着底後は適度な比重がボディをゆっくりと倒し込んでいき、着底後立ち続けるワームとはまた違ったアピールが可能。それを「倒れ込みアクション」なんて呼んでました。邪道ガイドブライドシリーズでこだわったアクションポイントのひとつでもあります。

今後、そのジャギータイルに新たに10インチクラスが登場するかも知れません。ちなみにテスト段階では、北山田沖の背の高いウィードフラットで大爆発! 最初は現行モデルのダウンサイズを考えていたんですが、好きな釣りを追求していくと、相手が琵琶湖だけに10インチが当たり前になってしまったのです。とは言ってもまだまだテスト段階で、発売時期やテール以外の形状はまったく未定ですが、作るからにはすごいモンにしたいので、みなさんぜひ期待しててください!

最後に補足ですが、夏本番を迎えた琵琶湖は熱中症対策を万全に! こまめな水分補給が大切です。体から水分が抜けていくと同時に塩分も失われるので、その点も注意が必要ですね。強い日差しは麦わら帽子が最高! いいですよ。ではみなさん、夏の琵琶湖を十分に満喫してください!



2010年の上半期は、ビッグバスに恵まれました。下半期は、果たして…? あと、熱中症対策は万全に!



実はヘビータキ専用が開発したジャギータイル。フォール時のアクションが効く!



ジャギータイルに10インチモデルが登場予定!? みなさんぜひご期待ください!!

ヘビータキやパンチングが、おもしろくなってきた!

おくむら・おおなかりレーコラム

**I AM MASAKI-O**  
**アイアムマサキオー**

あつという間に過ぎ去った、2010年の上半期。いい釣りしましたか? とにかく気候が不安定で、結果が出ない日がたくさんあったボクのガイド。でもなぜか、ロクマルオーバーのビッグバス率は上昇しましたね。やっぱりデカイ魚は、ちょっとやそつじゃ動じないのでしょか……

大仲正樹 (http://www.masaki-guide.net/) = 文